

山行申し込み、個人山行の届けは平井へお願ひいたします。

携帯メールアド : tad-hira@ezweb.ne.jp または PC アド : izc00565@nifty.com

いわて生協山の会 : 2026 年 1 - 2 月の山行計画

山行日	行き先	難易度	参加費	参加〆切	備考
1/24(土)	岩神山	★★☆☆	1,000 円	1/19	兜明神の奥の山です。
1/31(土)	女助山	★★☆☆	1,000 円	1/26	零石の男助山の向かいの山です。
2/7(土)	御月山	★★☆☆	700 円	2/2	積雪期限定の山。今年は登れるかな?
2/14(土)	三ツ石山	★☆☆☆	500 円	2/9	網張戸-場～大松倉山～三石山へ。
2/21(土)	森吉山の樹氷	★☆☆☆	500 円	2/16	阿仁ゴソドラを降りればすぐ樹氷原!
2/28(土)	乳頭山	★☆☆☆	500 円	2/23	孫六温泉からピストンします。

参加費は 5 人参加の場合の概算です。人数により変更あります。予めご了承ください。申し込みは平井へ

第 22 回県連雪崩講習会のご案内

2026/1/25(日)8:30～15:00 実技講習(初級コース)

◎目的 : 実地体験による雪崩知識の深化 内容 : 雪崩対策の実際 (基礎編)

雪質観察 / 弱層テスト / 埋没体験と掘出し法 / ピーコン操作・表示の確認 / 捜索演習

募集人員 : 初級コース 15 名 場所 : 網張レストハウス裏 P

○雪崩基礎講座の受講者を対象とします。なお、過去3～4年の間に初級程度の雪崩講習会(座学)の受講経験者でも可とします。*雪崩ピーコン・ゾンギ棒・スコップをお持ちの方はご持参ください。

参加費 労山会員 : 1,000 円・一般 : 2,000 円

2026 年度山の会総会のお知らせ

2026/2/12(木)18:30～20:00 ベルフ青山 2F 会議室

2025 年度の活動の振りりと決算報告の承認

2026 年度の計画と予算の決定・2026 年度役員の選出

「2026 年・私が登りたい山」を募集しています

毎年募集している、「私が登りたい山」を出し合いましょう

*年明けから希望の多い企画を優先しながら企画を具体化していきます。

2025 年の希望との重複も OK です。リベンジ企画の希望も歓迎します。

次回は総会です。2026/2/12(木)18:30～ベルフ青山 2F 会議室にて

2026 年度の振りりと 2026 年度の計画などを話し合います。

■12/06(土) 姫神山 11/7(金)-8(土)



始めた、何時もの想定内だ。鎧のようにエビのしつぼをまとった木々が姫神を象徴する風景として、「また来れた」とささやかに嬉しい感動だ。9:50 頂上には誰もいはず我パーティのみ、ちょっと寂しいね。風が吹いて寒いので早々の下山だが、下山する程風もおさまり、途中ランチをしながらラッセルも無く、11:30 予定よりも早い下山となり「どっと晴れ」でした。(中根)

■12/13(土) 七ツ森

参加者 CL /金子・SL/平井・泉・シガ・中根・藤倉 6名

7:45 駐車場には車が1台、5cm程の積雪の中、いざ姫神の頂上へ。なだらかな登山道の中、歩を進めるが登る程に6~7cmと雪の量が多くなる。9:20 水石にて小休止、この辺りは降り積もった雪が、綿菓子のようにどの木にもふわりと鎮座している。久しぶりに見る癒しの光景だ。この辺りから頂上までは急坂になり難所だ。雪をまとった岩肌を縫うように、ロープに掴まりストックでよじ登る。風が出



■12/13(土) 七ツ森

参加者 CL /金子・SL/平井・泉・中根・フク子・藤倉 6名

8:00 牧野林集合。8:30 七ツ森登山口でフクちゃんと藤倉が合流。身支度を整え 8:45 出発。今日の天気は曇り。私の好きな山、名前通り七つの森(イーハトーブ風景地として賢治の文学作品ゆかりの地)を歩きます。毎年、春や冬に歩くのですが、今年は熊騒動もあり、山の会での山行に希望を出しました。林道コース、近道コース(林道を何度か横切る)などあるのですが、今日は急坂続く近道コースです。雪が落ち葉を覆い足元が滑るので、足を



蹴りながらゆっくり登ります。あつと言う間に七ツ森最高峰 348m、生森(おおもり)着 9:15。今日は残念ながら、岩手山や秋田駒ヶ岳の展望は今一でした。すっかり田園風景もグレーに包まれ、これから冬本番が来る景色に変わっていました。9:25 二つ目の石倉森、9:45 三つ目の鉢森。10:00 四つ目の三角(みかど)森。10:25、五つ目の勘十郎森、10:45 登山口着。(車を回送した七ツ森小学校近く)今回は稗糠森と登山道がない見立森は登頂出来ず、またもや残念でした！そこに見えて手が届きそうなのに、行けないんですねえ～。今日も、楽しい山行でした！(藤倉)

■12/20(土) 宇靈羅(うれい)山

参加者 CL /金子・SL/平井・秋元・泉・中根・フク子 6名

岩泉町の市街に入ると、宇靈羅山の切り立った岸壁の山容が車窓から見て取れる。登山口入り口前の狭い場所にど



うに駐車し、9:00に出発。5分ほど歩くと作業小屋らしい建物があり、ここから山道に入ります。雑木林と赤松の木が立ち並んでいると、つい岩泉町の特産物「松茸」が思い浮かんでしまいます。厚く重なり埋もれた落葉を踏みながら歩くと、心地よい音と臭いが私の感覚を刺激します。30分ほど歩くと「滑落注意」「足元注意」の看板と近くの岩場にロープが垂れ下がり、一歩一歩注意しながら登ります。稜線に出て、「展望台」からは眼下に岩泉町の街並

みと「小本川」が大きく蛇行して流れしており、岩泉駅も確認できましたが、平成26年に廃線になり残念ですね。10:25 アイヌ語で「霧のかかる峰」を意味する宇靈羅山の頂上です。

頂上には「幸せになれる」黄色の鐘が私たちを迎えてくれました。12月もあと少しで終わりというこの時期に、風もなく暖かな春のような陽だまりに一日なので、「音床(おんどこ)山」まで足を延ばしていきます。「馬の背」辺りからは雪が積もっており、音床山のシンボルとされる樹齢150年の「ナラの大木」を過ぎると、周りは平坦な地形が広がり、ピンクテープがなければ迷いやすいので注意が必要でした。

宇靈羅山から50分ほどかかり、二等三角点の音床山の

山頂に立ちました。何のために積み上げた石垣なのか、その上に標識があり、葉のない木々の間からは、山名の分からぬ山並みがぐるりと見渡すことができました。12:25 宇靈羅山の頂上に再び戻り休憩の後、枯葉で滑る道を怪我しないよう慎重に下り、13:15 登山口に戻りました。宇靈羅山が今年最後の山になりました。1年間山の会の皆さんには大変お世話になりました。ありがとうございました。また来年も皆様と沢山の山を登れますように…(泉)

